

那覇ゴルフ倶楽部クラブハウス

Naha Golf Club

No. 06-009-2012作成

新築

その他

発注者	沖縄土地住宅株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社熊谷組一級建築士事務所		E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携
施工	株式会社熊谷組		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他	

景観に配慮したクラブハウス

景観との調和

ゴルフコースの自然景観との調和を考慮し、また、沖縄特有の台風時の強風に配慮して建物を低層化（2層）し、さらにエントランス階を2階とすることにより正面側が平屋となるデザインとしている。

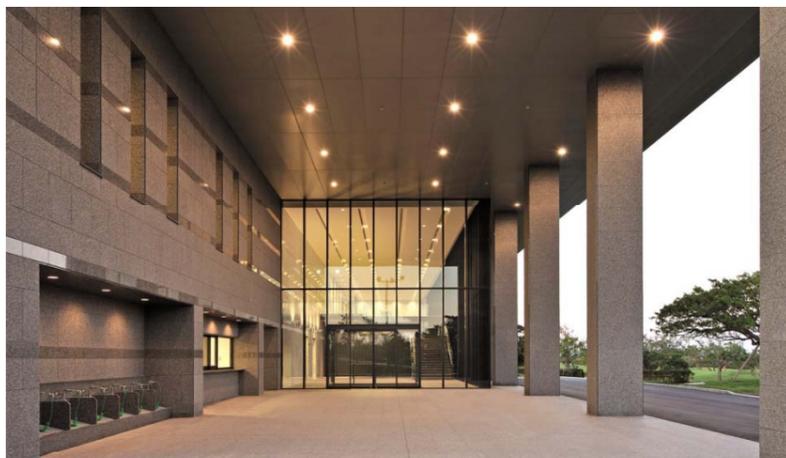
コースを一望できる開放感のある空間を確保するためコース側はカーテンウォールによる全面開口としており、深い軒を設けることにより夏季の強い日射を制御し、空調負荷の増大に繋がらないよう配慮している。



正面側外観



コース側外観



スターティングテラス

水資源保護

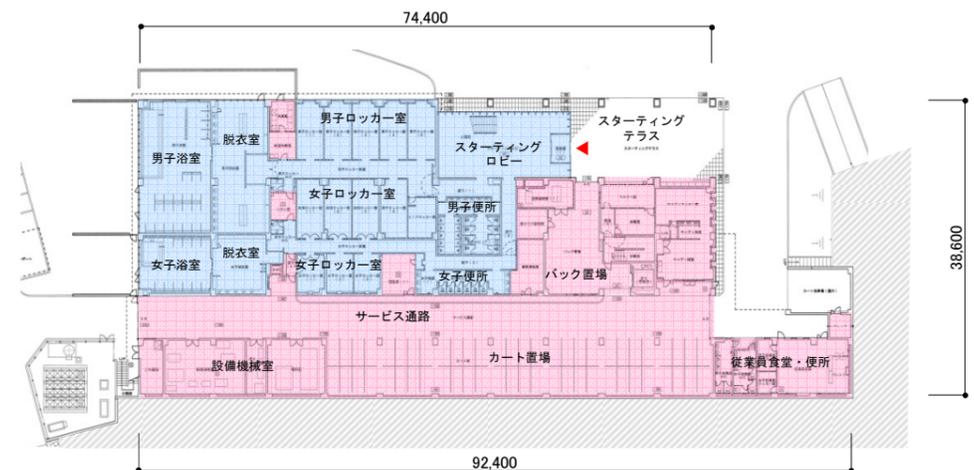
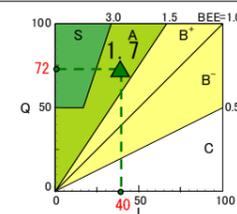
屋上及び駐車場の雨水を集めて、コースの散水に再利用することにより水道水の使用量を軽減している。

クラブハウスで出された雑排水は、敷地内の浄化槽にて処理を行い、コース内の池に放出して、外部への排水負荷の低減を行っている。

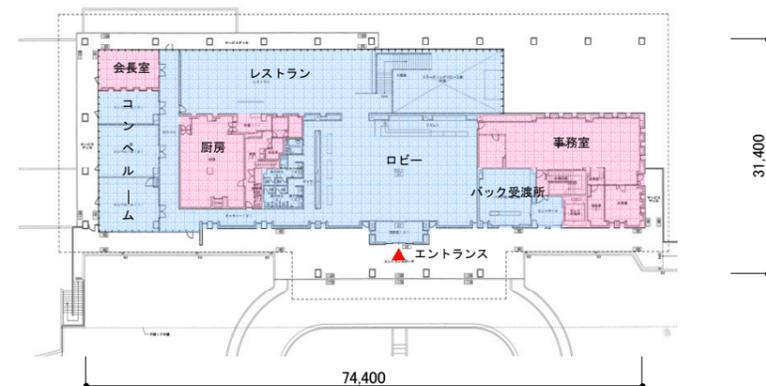
所在地	沖縄県島尻郡八重瀬町
竣工年	2011年
敷地面積	756,348㎡
延床面積	4,945㎡
構造	RC造一部S造
階数	地上2階

省エネルギー性能	
PAL削減	8%
ERR (CASBEE準拠)	10%
LCCO ₂ 削減	8%

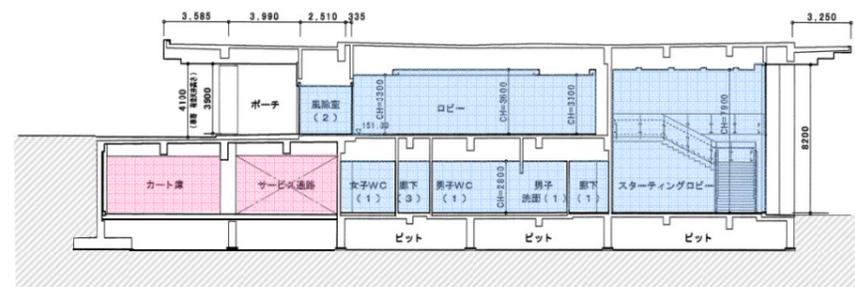
CASBEE評価	
Aランク	
BEE=1.7	
2008年度版	
自己評価	



1階平面図



2階平面図



断面図

沖縄の気候への対応

強い日差しに対応するために、屋上には遮熱塗料を施し、断熱材との相乗効果により、熱の侵入を防止している。また、深い軒を設定することで窓からの日射を制御して空調負荷の少ない快適な環境を確保している。県内は広い範囲にて潮風の影響があるため、金属、設備機器等は塩害を考慮した仕様として耐久性を確保している。

設計担当者

統括：永島 仁／建築：進藤 裕樹、竹村 和善／構造：高原 伸一／設備：阿部 清史／電気：山岸 徹／インテリア：坪根 正博

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性 (外壁・内装仕上げの補修・更新必要間隔の配慮、バックスペースの確保)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (低層の建物とすることで周辺環境に調和)
- LR2. 2. 非再生性資源の使用量削減 (OAフロア、可動間仕切りの採用)
- LR2. 1. 水資源保護 (雨水のコース散水への再利用による水道水の使用量低減)
- LR3. 2. 地域環境への配慮 (敷地の特性を活かし、汚水を浄化槽を通し地盤浸透)

